



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場会社名 新日本電工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5563 URL <https://www.nippondenko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 泰
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 田中 徹 TEL 03-6860-6800
 四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有（補足説明資料は当決算短信に綴じ込んでいます）
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	57,298	△2.8	2,669	△63.9	1,165	△87.4	764	△89.7
2022年12月期第3四半期	58,959	23.0	7,392	16.2	9,262	102.5	7,450	115.7

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 1,133百万円 (△87.5%) 2022年12月期第3四半期 9,032百万円 (94.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	5.56	—
2022年12月期第3四半期	50.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	99,164	67,673	68.2
2022年12月期	104,943	69,225	65.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 67,673百万円 2022年12月期 69,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	8.00	—	9.00	17.00
2023年12月期	—	3.00	—		
2023年12月期（予想）				4.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	△1.7	2,500	△75.9	3,000	△62.3	21.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	137,217,772株	2022年12月期	146,931,567株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	2,324株	2022年12月期	7,092,135株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	137,562,803株	2022年12月期3Q	146,878,992株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づき算定しており、多分に不確定要素を含んでおりますので、実際の業績は予想数値と大きく異なる場合があります。上記の予想に関する事項につきましては、添付資料の9ページ「2. 補足説明資料」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
2. 補足説明資料	9
(1) 連結業績	9
(2) 事業別業績	9

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,911	7,199
受取手形及び売掛金	11,720	9,553
商品及び製品	19,892	18,375
仕掛品	284	191
原材料及び貯蔵品	13,430	13,590
その他	2,716	2,566
貸倒引当金	△15	—
流動資産合計	56,940	51,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,027	6,283
機械装置及び運搬具(純額)	11,125	11,668
土地	5,298	5,298
リース資産(純額)	3,309	3,182
建設仮勘定	364	259
その他(純額)	285	336
有形固定資産合計	26,410	27,028
無形固定資産	164	343
投資その他の資産		
投資有価証券	14,327	13,471
長期貸付金	5,109	5,280
退職給付に係る資産	546	514
繰延税金資産	1,107	759
その他	337	289
投資その他の資産合計	21,428	20,315
固定資産合計	48,003	47,688
資産合計	104,943	99,164

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,621	5,170
短期借入金	8,000	2,000
1年内返済予定の長期借入金	2,558	3,528
リース債務	156	155
未払法人税等	819	289
賞与引当金	332	778
役員賞与引当金	70	20
設備関係支払手形	424	77
その他	4,945	4,943
流動負債合計	24,929	16,964
固定負債		
長期借入金	6,192	10,116
リース債務	4,144	4,058
繰延税金負債	5	—
その他	446	352
固定負債合計	10,789	14,526
負債合計	35,718	31,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,084	11,096
資本剰余金	21,439	17,450
利益剰余金	36,244	35,338
自己株式	△3,001	△0
株主資本合計	65,767	63,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,020	1,463
繰延ヘッジ損益	5	1
為替換算調整勘定	1,599	1,575
退職給付に係る調整累計額	794	747
その他の包括利益累計額合計	3,419	3,787
非支配株主持分	37	—
純資産合計	69,225	67,673
負債純資産合計	104,943	99,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	58,959	57,298
売上原価	46,694	49,637
売上総利益	12,264	7,661
販売費及び一般管理費	4,871	4,991
営業利益	7,392	2,669
営業外収益		
受取利息	115	158
受取配当金	113	82
持分法による投資利益	1,888	—
為替差益	463	146
その他	216	273
営業外収益合計	2,797	660
営業外費用		
支払利息	363	396
持分法による投資損失	—	1,227
固定資産除却損	396	400
その他	168	139
営業外費用合計	928	2,163
経常利益	9,262	1,165
特別利益		
投資有価証券売却益	146	564
特別利益合計	146	564
特別損失		
固定資産除却損	31	21
関係会社株式売却損	—	47
その他	3	5
特別損失合計	35	74
税金等調整前四半期純利益	9,373	1,656
法人税、住民税及び事業税	1,153	743
法人税等調整額	758	148
法人税等合計	1,912	892
四半期純利益	7,461	764
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,450	764

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	7,461	764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△161	444
繰延ヘッジ損益	2	△4
退職給付に係る調整額	△14	△46
持分法適用会社に対する持分相当額	1,744	△24
その他の包括利益合計	1,570	368
四半期包括利益	9,032	1,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,028	1,132
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材料 事業	環境 事業	電力 事業	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収 益	42,985	8,769	4,389	1,216	57,360	1,598	58,959	—	58,959
外部顧客への 売上高	42,985	8,769	4,389	1,216	57,360	1,598	58,959	—	58,959
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	103	150	—	—	254	136	390	△390	—
計	43,088	8,920	4,389	1,216	57,615	1,735	59,350	△390	58,959
セグメント利益	7,878	474	394	361	9,107	154	9,262	—	9,262

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に化学品等販売事業、その他子会社事業となります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材料 事業	環境 事業	電力 事業	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収 益	40,662	9,804	4,561	920	55,949	1,349	57,298	—	57,298
外部顧客への 売上高	40,662	9,804	4,561	920	55,949	1,349	57,298	—	57,298
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	66	46	—	—	112	56	169	△169	—
計	40,729	9,851	4,561	920	56,061	1,405	57,467	△169	57,298
セグメント利益 又は損失 (△)	△359	931	301	186	1,059	105	1,165	—	1,165

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にその他会社事業となります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

2. 補足説明資料

(1) 連結業績

(単位：億円 億円未満四捨五入)

	2022年	2023年			前期比	2023年通期見込 (8月7日公表)
	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	3Q累計	
売上高	590	394	179	573	△17	780
経常利益	93	11	1	12	△81	25
経常利益(実力ベース)※	46	31	8	39	△7	57
経常利益率(%)	16	3	0	2	-	3
親会社株主に帰属する 当期純利益	75	8	△0	8	△67	30
1株当たり当期純利益(円)	50.7	5.8	△0.3	5.6	△45.2	21.8

※経常利益(実力ベース)：在庫影響や一過性要因を除いた経常利益

当第3四半期累計期間は、合金鉄事業の原料市況下落による在庫影響が大きく、経常利益は12億円と前年同期と比べ81億円の減少と大きく減益。特に第3四半期は、国内合金鉄事業が計画的な炉修を実施したことにより連結経常利益は1億円にとどまる。

一方、同累計期間における実力ベースの経常利益は、各事業において電力価格上昇分の価格転嫁を進めたこと並びに生産能力増強及び設備再稼働等による利益貢献により39億円となり、前年同期比7億円の減益にとどまる。

第4四半期は、炉修が完了した国内合金鉄事業に加え、機能材料事業や環境事業でも利益の上積みが見込まれることから年間見通しは前回公表同様、経常利益25億円(実力ベース経常利益は昨年並みの57億円)、当期純利益30億円を見込む。

(2) 事業別業績

(単位：億円 億円未満四捨五入)

	2022年	2023年			前期比	2023年通期見込 (8月7日公表)
	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	3Q累計	
売上高						
合金鉄事業	430	285	122	407	△23	540
機能材料事業	88	63	35	98	10	140
環境事業	44	32	14	46	2	70
電力事業	12	6	3	9	△3	14
その他	16	8	6	13	△2	16
合計	590	394	179	573	△17	780

	2022年	2023年			前期比	2023年通期見込 (8月7日公表)
	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	3Q累計	
経常利益						
合金鉄事業	79	3	△7	△4	△82	△4
うち国内	60	12	△4	8	△52	10
うち海外	19	△9	△3	△12	△31	△14
機能材料事業	5	5	4	9	5	18
環境事業	4	2	2	3	△1	7
電力事業	4	1	1	2	△2	3
その他	2	0	1	1	△0	1
合計	93	11	1	12	△81	25

	2022年	2023年			前期比	2023年通期見込 (8月7日公表)
	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	3Q累計	
経常利益(実力ベース)						
合金鉄事業	27	21	0	21	△6	25
うち国内	14	22	0	22	8	26
うち海外	13	△1	0	△1	△14	△1
機能材料事業	6	7	5	12	6	21
環境事業	7	2	1	3	△4	7
電力事業	4	1	1	2	△2	3
その他	2	0	1	1	△1	1
合計	46	31	8	39	△7	57

(合金鉄事業)

当社主力製品である高炭素フェロマンガ及びその原料であるマンガ鉱石市況は前年と比べ大幅な安値で推移する一方、電力コストは高値で推移。

マンガ鉱石市況の大幅な下落に伴う在庫影響のマイナスが響き、経常利益は前年同期比82億円の減益。

一方、実力ベースの経常利益は、前年同期比6億円の減益。国内事業においては価格決定方式の変更等の収益改善策により前年同期比8億円の増益となったものの、海外持分会社においてはシリコマンガ及びフェロシリコン市況の下落等により前年同期比14億円の減益となったことが要因。

国内事業は、第3四半期に計画的な炉修を実施したことから一時的にマイナスとなったものの、炉修が完了した第4四半期は改善を見込む。

(機能材料事業)

主力商品の一つである酸化ジルコニウムは、車載用電子部品の需要回復の遅れにより販売が減少したが、昨年生産能力を増強したりチウムイオン電池正極材や再稼働したフェロボロンの販売が増加したことに加えて電力価格上昇分の販売価格への転嫁が進んでいることもあり、経常利益は前年同期比5億円の増益。

特に第2四半期以降に販売が本格化したフェロボロンが収益に寄与。第4四半期についても引き続き収益改善が進む見込み。

(環境事業)

環境システム事業については、電力価格及び原材料コスト上昇分の販売価格への転嫁が進んでいるものの、焼却灰溶融固化処理事業においては、電力価格上昇に対する処理価格への転嫁が一部にとどまったことや第3四半期に炉修を実施したことによる処理量の減少により、経常利益は前年同期比1億円の減益。

第4四半期は高水準の操業を計画しており、年間では昨年を上回る業績を見込む。

(電力事業)

再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)を利用した売電事業として2カ所の水力発電所は順調に稼働したものの、気象条件に恵まれた前年同期と比べると夏場に降雨量が減少したため売電量も減少。

<参考指標>**1. 欧州高炭素フェロマンガ市況**

(単位: \$/t)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2022年	1,894	1,940	1,260	1,225	1,580
2023年	1,264	1,153	1,009	1,000程度	1,106程度

2. マンガ鉱石市況

(単位: \$/Mn%)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2022年	6.0	8.2	7.0	4.9	6.5
2023年	5.4	5.4	4.7	4.5程度	5.0程度

3. 為替レート

(単位: 円/\$)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2022年	116	130	138	142	131
2023年	132	137	145	150程度	140程度